

報告書

作成者：MORE 企画 白井ゆみ

作成日：2024/11/27







1 プロジェクトの概要

タイトル	海と日本☆伊豆半島の海ゴミ一掃プロジェクト@雲見
実施目的	主な目的は、【生態系の保護】【環境保全】【公共の利益の向上】【社会的責任の履行】の4点です。海中のゴミを放置しておくこと、そこに住む海洋生物に危害を及ぼし、ひいては海の生態系に悪影響を及ぼします。また、海岸に流れ着いたり水面に浮かんでいたりすることで景観も損ないます。水中清掃を行うことで、海の魅力をさらに高め、生態系を保護し、社会貢献活動として街全体の価値をあげることに繋がります。

2.プロジェクトの詳細

内容背景	今回、清掃場所となるのは松崎町の雲見港。これまで、川の河口に位置している当港へは大量の土砂や流木と共に、ゴミも流れ込んで来ていた。しかし、無償のボランティアに水中清掃を依頼するしかなく、なかなか頼みづらい状況であった。そこで、MORE 企画が主催する「有償ボランティアのプロダイバーによる水中清掃」の話が上がり、実施する運びとなった。
期間	2024年11月11日(月)9時00分~13時30分
場所	〒410-3615 静岡県賀茂郡松崎町雲見359-2
企画・実行	MORE 企画 ：代表・白井ゆみ、雲見ダイビングサービスはまゆ：代表・鈴木辰徳
協賛	日本財団、一般社団法人中部地域づくり協議会、株式会社タバタ、仙造屋、富久三苑、Costa Forno、長右エ門、浜道楽、Azemichi Cafe 他
保険	あいおいニッセイ同和損害保険(傷害：潜水作業あり、潜水作業無し両方)
水中班	安東潤、木村多葉紗、増田和昌、柏木美穂、デアプラタセナ、川辺千景、苅部徹、土井佑太
陸班	白井ゆみ、勝田南央、大石彩夏、土屋銀河、小野廉太郎
安全管理	(1)事故発生時には雲見漁協の「事故発生時の連絡網」に従って対応する。 海上保安庁：118 消防：119 警察：110 近隣の病院：雲見漁協の事故発生時の連絡網に従う 軽症の場合：雲見漁協の事故発生時の連絡網に従う 重症の場合：雲見漁協の事故発生時の連絡網に従う (2)水中・水面のダイバーと船舶の接触を最も避けなければならないので、1チーム毎に水面での安全管理ダイバーが水面で国際信号旗A旗を取り付けたフロートカブイを保持して、その下をダイバーが潜るようにする(2本目は、一か所にまとめて全員潜水)
ゴミの処理	雲見漁協内の駐車場の一角に一時保管し、その日のうちにクリーンピア松崎が回収。(クリーンピア松崎のスタッフ2名+白井ゆみ、勝田南央の4名でトラックに積み込んだ)

3.実施実績

量	500 kg以上
内容	ワイヤー、釣り竿、釣り糸、鉄パイプ、ホース、網、空き缶、空き瓶、塩ビ管、ロープ、漁網、ルアー、釣り餌箱、タバコ、バケツ、三脚
詳細	<p>今回は、漁船の下（これまでも清掃実績あり）と、禁漁区（潜水実績なし）の2か所を清掃。釣り人が多いこともあり、海底に沈んだゴミに引っかかった釣り具が目立った。</p> <p><漁船の下> 岸壁から回収。深度 2m 程度であるため、ゴミ袋が満タンになったら（または大物はそのまま）岸へ手渡しし、新しい袋と交換した。</p> <p><禁漁区> 船を横付けして回収。テトラポットを沈めた際に、一緒に残されてしまった可能性の高いワイヤーやパイプ等の商業ゴミが多く沈んでいた。ほとんどが錆びついていたので、海水に錆が多く溶け込んでいると予想。最近、沈んだものではないと考えられるため、あと数回の実施で全て拾い切れるだろう。</p>
	     

4.実施の様子と内容

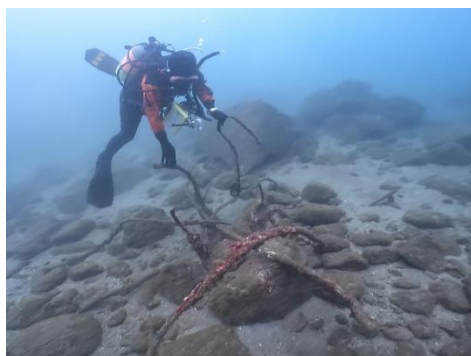
<p>流れ</p>	<p>準備</p>	<p>08:00～09:00</p> <p>MORE 企画、はまゆ代表（鈴木辰徳）、Keep Smiling（苅部）、Marine Sweeper（土井）が到着。潜水計画立て、挨拶、各種確認、テーブルや椅子の準備、施設支払い</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<p>集合</p>	<p>09:00-09:45</p> <p>参加者集合、器材セッティング、挨拶、陸と海の流れ説明、同意書サイン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<p>準備</p>	<p>09:45-10:00</p> <p>開始への最終チェックと準備、水中班と船上担当は全員船に乗り込む</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<p>入水</p>	<p>10:00-10:05</p> <p>チームごとにエントリー開始</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

潜水作業 1

10:05-11:30

海の作業ダイバー6名、撮影係1名、安全管理1名が入水。

2チームに分かれて作業。大きなものは、チーム内で協力して回収。手持ちのメッシュバッグがいっぱいになったタイミングで、船へ戻るようにした。また、船からロープをおろし、重たい物は船上から引き上げた。



流れ

休憩

11:30-12:00

ゴミを船から陸へおろし、一度目の休憩。今回は品物の協賛は得られなかったため、MORE 企画負担での地元のパンを購入しボランティアへ配布。施設に珈琲などの飲み物はあったため、MORE 企画からの提供も無し。イスやテーブルも、普段設備として置いてあるものを各々使用した。



潜水作業 2

12:00-12:45

二度目の潜水作業、チームやフォーメーションは一度目と同様。ただし、1 チームは漁船の下を清掃。水中（または水面で禁漁区を掃除しているチームと合流&船にエキジット）漁船下のチームのゴミは、岸壁から回収。



	<p>終了</p>	<p>12:45-13:30</p> <p>分別と回収してもらうための一時保管場所へゴミを動かし、解散。</p> 
--	-----------	---

5. 収支

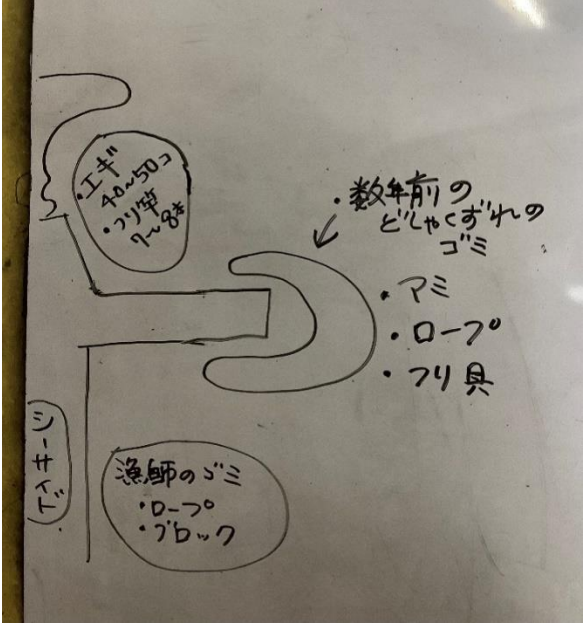
	内容	金額	仕入れ先/支払い先
収入	協賛金	11,000 円	協賛店 (旅館・飲食店)
支出	打ち合わせ交通費	3,000 円	-
	謝礼金 (20,000×7)	140,000 円	水中ボランティア
	軽食&ランチパン	6,380 円	Costa Forno
	施設使用料 (1,650×7)	11,550 円	雲見漁協
	タンク代 (1,300×7)	9,100 円	はまゆ
	ポート代 (2,000×7)	14,000 円	はまゆ

※上記金額は、すべて MORE 企画の負担とする。

※謝礼金に委託先への交通費も含む (謝礼金受け渡し時には領収書の発行が必須)

メディア	<p>静岡新聞 https://news.yahoo.co.jp/articles/d3852b1df4646fc361e838d4d4a4ac1252194aee</p> <p>伊豆新聞 https://digital.izu-np.co.jp/news/society/84297</p> <p>伊豆経済新聞 https://shimoda.keizai.biz/headline/597/</p> <p>Yahoo!ニュース https://news.yahoo.co.jp/articles/d1af7e0173ff189291ec05c3aba489d95bf9a38b?source=rss</p>
------	--

6. その他

<p>下見の様子</p>	 <p>※はまゆからの下見報告（11月上旬）</p>
<p>感想と次回へ向けて</p>	<p>念入りな事前確認 今回、漁協・産業建設課・ゴミ収集・ダイビングサービスの関係性を理解できず、直前になって許可が必要だと判明し急ぎに対応することとなった。申請から承認までを各所へ急がせてしまったため、今後は事前に確認を念入りに行いたい。</p> <p>第三者が関わっていることの周知徹底 傷害保険への加入の関係で、当日のメンバー変更は保険適応にならない可能性があるため基本はNG。この周知が足りなかったため、当日潜水担当のメンバーが入れ替わり、陸班が潜水班に移動となった。結果、陸班の人数も事前に確認していた人数（8名）から大幅に減少（最終2名）した。また適切な手段と段取りを踏まないと、助成金への申請や次回の審査に引っかかる可能性があることを、事前にスタッフ側が把握しておく必要があった。</p> <p>協賛協力要請の区域拡大と早め行動 雲見の場所が飲食店などが少なく、協賛品を得ることができなかった。次回は早々に松崎町全体をターゲットとした協賛協力の周知が必要。旅館関係者にも事前に告知をしたい。</p> <p>回収物の精査と案内 回収するものとししない物、環境への悪影響を考慮して優先して回収する物などをしっかりとアナウンスすべきだった。プラスチック>バッテリーやエンジン>漁具・釣り具>瓶缶・他。コンクリートブロックなどの回収は不要であるとの案内が必要だった（回収時に注意を受けた）</p>
<p>各種申請・許可・人員</p>	<p><u>雲見漁協</u>：禁漁区、湾内（漁船下）の清掃可。（14時～14時半以外が望ましい） <u>はまゆ</u>：ダイバーと陸の手配を依頼済、メンバー水中6、陸8（2024年11月4日現在） <u>クリーンピア松崎</u>：ゴミ収集協力（漁協への一時保管の許可済） <u>松崎町観光協会</u>：広報協力、後援等内容相談中 <u>松崎町役場</u>：町長の許可済、産業建設課の許可済（甲種漁港施設利用届出書提出済）</p>